

木工クラフトもっくん作りに挑戦

2月15日(水)酒田市宮海字新林の西荒瀬保育園児を対象とした「木工クラフトもっくん作り」による森林環境教育を実施しました。

当日の酒田地域は、低気圧の通過に伴い西風が強く吹く、くもり空の天気、年長組園児25名、保育園先生4名、庄内森林管理署1名、朝日庄内森林環境保全ふれあいセンター4名、総勢34名で行いました。

今回は、「もっくん」「森のクマさん」の2種類の木工クラフト作りに園児の皆さんが挑戦しました。「もっくん」の材料はオオバクロモジの幹と枝を、「森のクマさん」の材料はフナを輪切りにしたものを使いました。

最初に「もっくん」作りから行いましたが、材料選びでは顔が太いものや鼻が高いものなど選ぶ材料によって、園児の皆さんの一人ひとりの個性がでるものだと関心しました。園児の皆さんの頑張りで金や銀の鈴を頭に乘せた、自分だけの「もっくん」ができあがりました。

次に「森のクマさん」づくりに挑戦しました。「森のクマさん」はフナを輪切りにした材料の選び方でクマさんの表情に差がでるものですが、見本の完成品をまねることなく、個性あふれるクマさんができあがりました。中には、フタやタヌキに似せた「森のクマさん」を作る園児もいました。約1時間のみんなの頑張りで、「もっくん」と「森のクマさん」が完成しました。

続いて、各班の代表者から木工クラフト作りの感想を述べてもらいました。「一生懸命頑張りました。」「上手に作ることが出来ました。」などと発表がありました。

「もっくん」、「森のクマさん」を両手に持って、春が今すぐ飛んできてくれるような素晴らしい笑顔を見せてくれた園児の皆さんからは「みどりのおじさん、今までいろいろなことを教えてくありがとう」という我々への感謝の言葉をかけてもらいました。担当者として何よりも嬉しく涙が出そうなほど感激しました。

最後に「もっくん」を「森のクマさん」前に掲げながら、とびっきりの笑顔で記念撮影をして、みどりの保育園事業最終回の「木工クラフトもっくん作り」を終了しました。

